

西東京市シルバー人材センター広報紙

シルバー西東京

「中期5カ年計画」がスタートした半年後に、新型コロナウイルスが世界中に蔓延し、当センターもコロナ禍で大変厳しい状況になりました。最近は新型コロナの感染者も減少し、規制も大幅に緩和されていますが、いまだ先行きは不透明の中、計画の最終年となりました。目標値に一步でも近づくため、センター一丸となり事業を推進します。

一、会員の増強と能力向上
会員数および会員の質の両面から増強を図ります。
令和4年度は、4年ぶりに会員数が増加しました。その要因は、出張入会説明会の開催回数を増やした事です。今年度も入会説明会の拡大と内容について施策を検討し実施します。

また、契約の履行・安全就業・会員のスキルアップのため、各種講演会・研修会・就業者会議等を開催します。

二、就業機会の拡充と開拓

多くの会員が希望する職種の新規開拓に努め、就業先とのマッチングを図ります。特に女性向け就業分野の開拓に注力します。また、労働者派遣事業についても拡大します。

四、組織の充実と活性化

経営の安定と効率的な運営を行なうよう、簡素で機能性ある組織の改編を検討し、移行・実施

篠永澤
主事

新事務局員

4月1日付で新事務局員として篠永澤（主事）、後藤秀子（嘱託）の2氏が新任で加わりました。

会員の皆様と共に西東京市を盛り上げていけるよう元気をもつて頑張って参りたいと思います。わからぬことが多くご迷惑をおかけすることもあるかも知れませんが、これからよろしくお願ひ致します。

さらに、現行の就業開拓体制を見直し、事務局に就業開拓専門員を配置します。

三、安全・適性就業の推進
「安全は、全てに優先する」の理念のもと「作業別安全就業基準」の徹底を図ります。安全管理について施策を検討し実施します。

また、適切な業務運営を行ない、マニュアルの見直しを図ります。また、適正就業ガイドラインに沿った業務運営を推進しています。

フレイル予防では、「会員の体力・健康維持推進事業」として継続していきます。

白井 清美 新事務局長

本年4月1日から事務局長を拝命いたしました白井清美と申します。

ご存じのとおりシルバー人材センターは「自主・自立」の組織理念と「共働・共助」の事業理念の下で、これまで会員の皆様のおまわりますようよろしくお願ひいたします。

近年、社会環境の変化が激しい中、これまでの経験を活かしながら、会長・役員をはじめ会員の皆様にお役に立てるよう組織運営に努力してまいりますので、皆様のご指導・ご支援をたまわりますようよろしくお願ひいたします。

新事務局長

4月1日付で新事務局員として篠永澤（主事）、後藤秀子（嘱託）の2氏が新任で加わりました。

会員の皆様と共に西東京市を盛り上げていけるよう元気をもつて頑張って参りたいと思います。わからぬことが多くご迷惑をおかけすることもありますがあるかも知れませんが、これからよろしくお願ひ致します。

第182号

令和5年5月15日 発行

公益社団法人
西東京市シルバー人材センター

東京都西東京市富士町1-7-69

(UR プロムナード東伏見きらら内2階)

TEL.042-428-0787 FAX.042-428-0817

メールアドレス wtokyo1@sjc.ne.jp

<https://www.wtokyo.or.jp/>

令和5年度の事業計画（概略） 一 中期5カ年計画最終年に－

に向けて取組みます。
そして組織基盤を強化し、魅力のある持続可能なセンターをめざします。併せて組織の活性化のため女性会員の増強をめざします。組織運営に参画できるようになります。

（会長 堀 康隆）

事務局長が交代しました

4月1日付で、岡村保彦氏に代わり、白井清美氏が当センター新事務局長として着任されました。

新任のご挨拶

4月1日付で、岡村保彦氏に代わり、白井清美氏が当センター新事務局長として着任されました。

声(こゑ)

『学童交通擁護に携わって』

五十年代の頃、自分は何歳まで生きられるだろうかと、年老いた親の姿を見て思いました。その思いは健康で働き、世の中のために働くことではと考え続けてきました。

言葉を交わすことで就業している意義を実感しています。
現在、地域社会に貢献できることに感謝・感謝の気持ちで一杯です。健康管理をしつかり行い、この先も、学童交通擁護員の業務を続けたいと願う毎日です。

(理事 恩田 武雄)

地域合同パトロールに参加

4月26日、4年ぶりに市主催の地域合同パトロールが実施されました。春開催は集合・出発式があらやしき公園です。池澤隆史市長をはじめ、市、田無警察署、防犯協会、防犯活動団体関係者等100人余が参集しました。

当センターも防犯活動団体として事務局・会員約50名余の参加でした。従前は二組に別れてパトロールしましたが、今年は一体感を保つべく、堀会長やボランティア委員を先頭に一丸となって、地域住民の防犯意識を高めるための防犯標語を大声で唱和しながら、下保谷、北町地域を、幟旗とともにパトロールしました。



行進
の様子



【安全標語】

毎朝の鏡の笑顔で 健康チェック

(泉町 佐藤 守)



『ほっとサロン泉町』が開設されました

サロンは高齢者の生きがいの充実と活力ある地域社会作りのための居場所です。当センターも中期5ヶ年計画の筆頭重点目標である「会員の増強と能力向上」の一環として掲げて検討していました。
4月21日、「そんぽの家S西東京泉町」にて第1回の開設・実現に至りました。

フレイル予防の話やマジック披露など地域の方との懇談の場を作れたことは、シルバー会員としての励みとなりました。

